

学習内容別学級・講座

学習内容では、「教養の向上（趣味・けいこごとを含む）」が最も多数を占めるが、「職業知識・技術の向上」が大幅に増加。

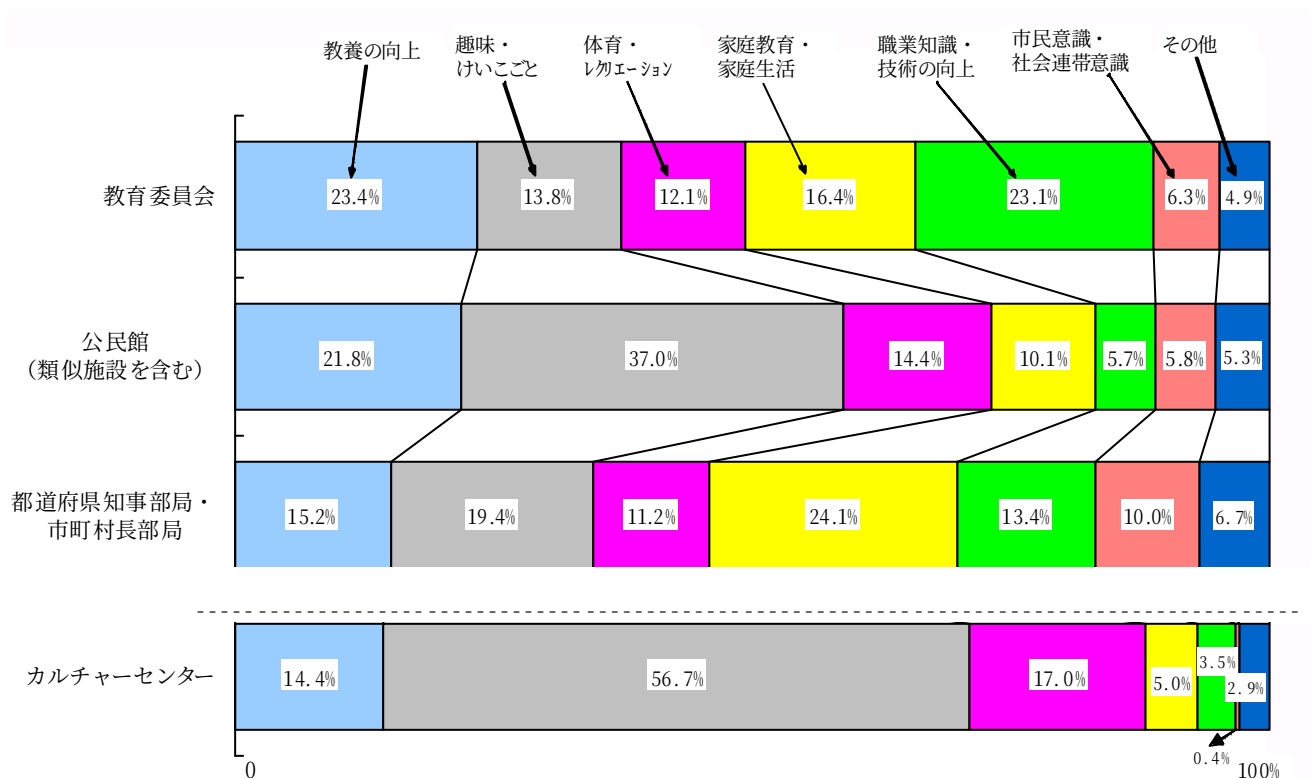
学習内容別学級・講座数

(件)

区 分	計	教養の向上	うち趣味・ けいこごと	体育・ レクリエーション	家庭教育・ 家庭生活	職業知識・ 技術の向上	市民意識・ 社会連帯意識	その他
教 育 委 員 会	167,400 (106,688)	62,333 (48,408)	23,161 (21,222)	20,181 (19,559)	27,497 (21,558)	38,657 (2,598)	10,515 (9,851)	8,217 (4,714)
公 民 館 (類似施設を含む)	354,108 (273,719)	208,310 (167,177)	130,960 (100,677)	50,826 (35,374)	35,721 (30,248)	20,077 (5,054)	20,417 (20,659)	18,757 (15,207)
都道府県知事部局 ・市町村長部局	230,419 (240,852)	79,766 (62,764)	44,782 (36,559)	25,747 (30,258)	55,510 (93,651)	30,808 (10,888)	23,096 (32,548)	15,492 (10,743)

注) ()内は平成11年度調査(平成10年度間)の数値である。

学級・講座の学習内容別構成比



注) カルチャーセンターについては経済産業省「特定サービス産業実態調査速報」(平成14年度)による。

(資料) 文部科学省「社会教育調査中間報告」(平成14年度)